

受益表現と所有構造に関する中日対照研究

楊凱榮

東京大学

kairongyang741@msn.com

キーワード：受益表現、 所有構造、 恩恵の授与、 視点、 連体修飾

受益 (benefactive) と所有 (possession) は二つの異なる文法概念であり、日本語も中国語もどちらもこの二つの概念を表す文法形式をもっている。中国語の受益と所有はそれぞれ“給”と“的”によって表わされ、日本語では「～てくれる、～てあげる」と「の」によって表わされる。通常、受益と所有は混同されることはないが、日本人の中国語学習者による作文にはこの二つを混同しているような文が観察される。

(1)? 今天我要做孩子的盒饭, 所以要早点回去。

(2)? 男的跟女朋友一起出去时应该买她的车票。

この二つの例文は文法的に大きな問題がないが、中国語母語話者には不自然だと感じられる表現である。これを以下のように“給”を用いた文に置き換えると、自然な中国語になる。例えば、

(3) 今天我要给孩子做盒饭, 所以要早点回去。

(4) 男的跟女朋友一起出去时应该给她买车票。

しかし、(1)、(2) に対応する次の日本語の所有構造は問題なく成立するものである。

(5) 今日は子供の弁当を作らないといけないから、早く帰る。

(6) 男はガールフレンドと一緒に出かけるときは彼女の切符を買うべきである。

上のような例では、中国語ではなぜ所有構造が使えず、“給”を用いなければならないのか？一方、日本語では、なぜ所有構造も受益表現もどちらも使うことができるのか？本発表は(1)、(2)が成立しない理由及び形式上(1)、(2)と対応する日本語の(5)、(6)の成立する理由を説明すると同時に、両言語の受益表現、所有構造に見られる違いをも明らかにしていく。